

製品名: Smad6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18000**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 62kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | SMAD6 |
| 別名 | SMAD6; MADH6; Mothers against decapentaplegic homolog 6; MAD homolog 6; Mothers against DPP homolog 6; SMAD family member 6; SMAD 6; Smad6; hSMAD6 |
| 遺伝子 ID | 4091.0 |
| SwissProt ID | O43541 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト Smad6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 323-372 |

背景

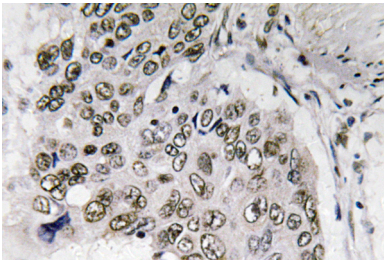
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ショウジョウバエの「デカペンタプレジックに対する母」(Mad) および線虫 (C.

elegans) の Sma に関連する SMAD ファミリータンパク質に属します。SMAD タンパク質は、複数のシグナル伝達経路を媒介するシグナル伝達因子および転写調節因子です。このタンパク質は、BMP および TGF- β /アクチビンシグナル伝達の負の制御に機能します。この遺伝子には複数の転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2014 年 9 月]、機能: TGF- β (形質転換成長因子) 1 型受容体スーパーファミリーメンバーによるシグナル伝達の拮抗薬。受容体活性化 SMAD1 を巡って共 SMAD である SMAD4 と競合することにより、BMP (骨形成タンパク質) シグナル伝達を選択的に阻害することが示されている。SMAD6 は、阻害性 SMAD (I-SMAD) または拮抗性 SMAD です。標的プロモーター領域の調節要素に結合します。、PTM:BMP タイプ 1 受容体キナーゼおよび PRKX によってリン酸化されます。、類似性:ドワーフィン/SMAD ファミリーに属します。、類似性:1つの MH1 (MAD ホモロジー 1) ドメインを含みます。、類似性:1つの MH2 (MAD ホモロジー 2) ドメインを含みます。、サブユニット:NEDD4L と相互作用します (類似性による)。RNF111 および AXIN1 と相互作用します。TGF- β タイプ I 受容体スーパーファミリーのメンバーである SMAD1、HOXC8、および HOXC9 と相互作用します。STAMBP および PRKX と相互作用します。、組織特異性:様々な臓器に遍在し、肺でより高濃度です。アイソフォーム B は病変心臓組織でアップレギュレーションされます。、

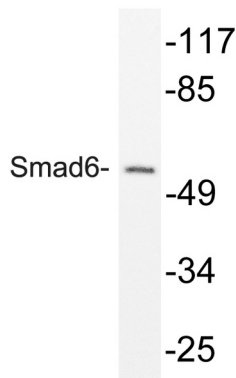
研究分野

TGF-ベータ;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における Smad6 抗体の免疫組織化学分析。



Smad6 抗体を使用したマウス脳溶解液のウエスタンブロット分析。